

数学科学習指導案

1 単元名 確率

2 本時の学習 確率の意味 (2 / 2)

3 本時の目標

- ・ 実験の結果から傾向を読み取り，確率の意味を導くことができる。
- ・ 実験の結果を表やグラフに表すことができる。
- ・ 実験の結果から傾向を知り，確率の意味を理解する。

4 本時の評価規準

評価規準 (評価方法)	A : 十分満足できる	B : おおむね満足できる
【数学的な見方や考え方】 実験の結果から傾向を読み取り，確率の意味を導くことができる。 (発表，観察)	実験の結果から自ら傾向を読み取り，自ら確率の意味を導くことができる。	実験の結果から傾向を知り，確率の意味を理解することができる。
【数学的な表現・処理】 実験の結果を表やグラフに表すことができる。(ワークシート)	考察しやすいように，実験の結果を表やグラフに表すことができる。	実験の結果を表やグラフに表すことができる。
【知識・理解】 実験の結果から傾向を知り，確率の意味を理解する。(ワークシート)	実験の結果から傾向を知り，確率の意味を十分に理解する。	実験の結果から傾向を知り，確率の意味を理解する。

5 学習過程

段階	学習活動	形態	教師の支援， 評価の観点と方法 (数学的活動における教師の支援)
つかむ	1 前時の学習内容を確認する。	斉	前時 (1 / 2) の授業の課題を振り返り，どんな実験を行ったかを確認する。
深める	2 前時に実験した結果をまとめる。 (1) 表を完成させる。 (2) グラフをかく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 【数学的活動】 イ 観察，操作などの具体的な活動 </div>	斉 個	前時は100回以上さいころを振っているが，各班100回までの結果を黒板の表に記入させ，自分のワークシートにも記入させる。 本来は同じ条件で数多くさいころを振った方がよいことを伝える。 1班ごとに100回，10班で1000回と考えさせる。 100回おきにグラフ上に点を取り，折れ線グラフを作らせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> 実験の結果を表やグラフに表すことができる。【数学的な表現・処理】(ワークシート) </div>

